

SPring-8運転・利用状況

財団法人高輝度光科学研究センター
研究調整部

平成21年6～8月の運転・利用実績

SPring-8は6月22日から7月31日までマルチバンチおよびセベラルバンチ運転で第3サイクルの運転を実施した。第3サイクルでは瞬時電圧低下による停止等があったが、全体としては順調な運転であった。総放射光利用運転時間(ユーザータイム)内での故障等による停止時間(down time)は約0.7%であった。

放射光利用実績については、実施された共同利用研究の実験数は合計381件、利用研究者は1,877名で、専用施設利用研究の実験数は合計177件、利用研究者は768名であった。

1. 装置運転関係

(1) 運転期間

第3サイクル(6/22(月)～7/31(金))

(2) 運転時間の内訳

運転時間総計	約930時間
装置の調整およびマシンスタディ等	約163時間
放射光利用運転時間	約761時間
故障等によるdown time	約5時間
総放射光利用運転時間(ユーザータイム= +) に対するdown timeの割合	約0.7%

(3) 運転スペック等

第3サイクル(マルチバンチおよびセベラルバンチ運転)

- ・160bunch train × 12 (マルチバンチ)
- ・203bunches
- ・11bunch train × 29
- ・1/7filling + 5bunches
- ・入射は電流値優先モード(2～3分毎(マルチバンチ時)もしくは20～40秒毎(セベラルバンチ時))のTop-Upモードで実施。
- ・蓄積電流 8GeV、～100mA

(4) 主なdown timeの原因

クライストロン管内真空悪化によるアポート
瞬時電圧低下によるアポート

2. 利用関係

(1) 放射光利用実験期間

第3サイクル(6/24(水)～7/28(火))

(2) ビームライン利用状況

稼働ビームライン

共用ビームライン	26本
専用ビームライン	14本
理研ビームライン	7本
加速器診断ビームライン	2本

共同利用研究実験数 381件

共同利用研究者数 1,877名

専用施設利用研究実験数 177件

専用施設利用研究者数 768名

平成21年8～9月の運転実績

SPring-8は8月1日から9月29日まで夏期長期運転停止期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業等を行った。

平成21年9～11月の運転・利用実績

SPring-8は9月30日から10月30日までマルチバンチおよびセベラルバンチ運転で第4サイクルの運転を実施している。引き続き、10月31日～11月5日の停止をはさみ、11月6日から12月18日までセベラルバンチ運転で第5サイクルの運転を実施する。第4サイクルおよび第5サイクルの運転・利用実績については次号にて掲載する。

今後の予定

- (1) 12月19日から1月13日まで冬期長期運転停止期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業等を行う予定である。
- (2) 冬期長期運転停止期間後の運転再開は1月14日からの予定で2月26日まで第6サイクルの運転を行う。但し、1月14日から1月18日10時までにはマシンおよびBL立ち上げ調整期間としユーザーへの放射光の提供は行わない予定である。詳細な運転条件については決定しだいユーザーにSPring-8のWWW等で報告する。